



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

平成27年7月28日

上場取引所 東

上場会社名 クラリオン株式会社
コード番号 6796 URL <http://www.clarion.com>

代表者 (役職名) 取締役社長兼COO (氏名) 川本英利
問合せ先責任者 (役職名) 取締役社長室本部長 (氏名) 新保邦彦

TEL 048-601-3700

四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	52,045	10.4	1,608	23.4	1,612	38.6	1,056	39.8	2,033	—
27年3月期第1四半期	47,162	—	1,303	—	1,163	—	755	—	121	—

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	3.75	—
27年3月期第1四半期	2.68	—

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	136,030	36,462	36,290	26.7
27年3月期	129,498	34,994	34,823	26.9

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	2.00	2.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成28年3月期の配当につきましては、業績等を考慮して検討いたします。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	220,000	10.8	11,000	48.9	10,000	63.1	7,000	43.6	24.83

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 —社 (社名) — 、 除外 —社 (社名) —

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	282,744,185 株	27年3月期	282,744,185 株
28年3月期1Q	864,281 株	27年3月期	858,733 株
28年3月期1Q	281,882,975 株	27年3月期1Q	281,909,879 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	3
3. 要約四半期連結財務諸表	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 継続企業の前提に関する注記	10
(6) セグメント情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安傾向の継続により輸出企業を中心に収益環境の好転が進むなか、雇用情勢、賃金上昇の改善がみられましたが、本格的な個人消費の回復にまでは至っておりません。海外におきましては、米国経済は好調な個人消費で堅調に推移しておりますが、ギリシャ問題を抱えた欧州では先行き不透明感が増加しております。また、中国や新興国では経済成長鈍化がみられるなど世界経済全体では力強さを欠いている状況が続いております。

当社グループの関連する自動車業界は、日本国内では4月からの軽自動車増税の影響による反動で新車販売が伸び悩み、世界最大の自動車市場である中国でも景気減速により低迷していますが、米国では新車販売は引き続き好調さを維持しております。

このような市場環境のもと当社グループは、安心・安全をめざしたインテリジェント・セーフティ事業とコネクティビティ事業を更に強化するとともに、グローバルでの事業運営強化や事業構造改革等により企業体質の強化をはかり売上収益・利益の拡大に努めてまいります。

当第1四半期連結累計期間における連結業績の概要は次のとおりであります。

日本国内の自動車販売は伸び悩んでおりますが、当社グループにおきましては、米州、アジアにおけるOEM（相手先ブランドによる生産）市場向け売上の前年同期比増加を主要因とし、連結売上収益は前年同期比10.4%増収の520億45百万円となりました。開発費の増加がありましたものの、増収による操業度改善、原価低減等により、連結営業利益は前年同期比23.4%増益の16億8百万円となりました。連結税引前四半期利益は前年同期比38.6%増益の16億12百万円、親会社株主に帰属する四半期利益は前年同期比39.8%増益の10億56百万円といずれも増益になりました。

セグメント別の業績概要は次のとおりであります。各セグメントの売上収益は外部顧客に対する売上収益を記載しており、各セグメントの利益は、営業利益であります。

(日本)

当セグメントの売上収益は前年同期比4.5%減収の207億72百万円、営業利益は前年同期比20.4%減益の91百万円となりました。

国内自動車販売の低迷、市場回復の遅れ及び開発費の増加等により、減収減益となりました。

(米州)

当セグメントの売上収益は前年同期比37.3%増収の210億9百万円、営業利益は前年同期比49.4%増益の5億53百万円となりました。

好調な自動車販売によりOEM市場向け売上が伸長したことに加え、中南米子会社のEMS（電子機器受託製造サービス）事業の売上も好調に推移、また、前年同期比での円安ドル高影響もあり、増収増益となりました。

(欧州)

当セグメントの売上収益は前年同期比22.0%減収の36億15百万円、営業利益は前年同期比64.7%減益の84百万円となりました。

自動車販売は好調を維持しているものの、モデル切り替えの端境期であり、OEM市場向け売上が減少したことから、減収減益となりました。

(アジア・豪州)

当セグメントの売上収益は前年同期比21.3%増収の66億48百万円、営業利益は前年同期比14.3%増益の8億35百万円となりました。

タイ国内での経済成長の鈍化による売上減はありましたが、中国でのOEM市場向け売上の伸長、及び前年同期比での円安影響により、増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、総資産が1,360億30百万円であり、前連結会計年度末より65億32百万円増加いたしました。このうち、流動資産は732億9百万円であり、前連結会計年度末より60億1百万円増加いたしました。非流動資産は628億21百万円であり、前連結会計年度末より5億31百万円増加いたしました。

負債につきましては、995億68百万円であり、前連結会計年度末より50億64百万円増加いたしました。

親会社株主持分につきましては、362億90百万円であり、前連結会計年度末より14億66百万円増加いたしました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、101億57百万円（前年同期末残高は125億91百万円）となりました。

営業活動に関するキャッシュ・フローにつきましては、棚卸資産の増加がありましたものの、四半期利益、減価償却費及び無形資産償却費等の計上、及び買入債務の増加により34億1百万円の収入（前年同期は28億95百万円の収入）となりました。

投資活動に関するキャッシュ・フローにつきましては、有形固定資産及び無形資産の取得等により、40億82百万円の支出（前年同期は27億40百万円の支出）となりました。

財務活動に関するキャッシュ・フローにつきましては、短期借入金の増加等により24億69百万円の収入（前年同期は9億6百万円の支出）となりました。

資金調達の概要

2015年6月にシンジケート方式によりタームローン80億円を再組成いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関しましては、平成27年5月12日の「平成27年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当該事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

当該事項はありません。

3. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位 百万円)

	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2015年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び現金同等物	8,257	10,157
売上債権	32,519	31,056
未収入金	1,380	1,121
棚卸資産	22,489	27,664
その他の金融資産	499	815
その他の流動資産	2,061	2,393
流動資産合計	67,207	73,209
非流動資産		
有形固定資産	26,754	26,685
無形資産	26,380	26,810
持分法で会計処理されている投資	1,121	1,159
有価証券及びその他の金融資産	2,591	2,698
繰延税金資産	4,096	4,049
その他の非流動資産	1,345	1,417
非流動資産合計	62,290	62,821
資産の部合計	129,498	136,030

	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2015年6月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	260	3,528
償還期長期債務	8,901	906
買入債務	24,932	29,923
未払金	10,086	7,133
その他の金融負債	251	815
未払費用	10,110	9,095
未払法人所得税	1,781	1,862
引当金	621	646
その他の流動負債	74	321
流動負債合計	57,020	54,233
非流動負債		
長期債務	27,176	35,125
その他の金融負債	1,422	1,375
退職給付に係る負債	8,131	8,081
引当金	495	496
その他の非流動負債	257	255
非流動負債合計	37,483	45,334
負債の部合計	94,504	99,568
資本の部		
親会社株主持分		
資本金	20,346	20,346
利益剰余金	6,934	7,427
その他の包括利益累計額	7,681	8,657
自己株式	△139	△141
親会社株主持分合計	34,823	36,290
非支配持分	171	172
資本の部合計	34,994	36,462
負債・資本の部合計	129,498	136,030

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

【要約四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)
売上収益	47,162	52,045
売上原価	39,910	44,023
売上総利益	7,252	8,022
販売費及び一般管理費	5,988	6,511
その他の収益	91	135
その他の費用	52	37
営業利益	1,303	1,608
金融収益	36	55
金融費用	121	98
持分法による投資損益	△55	48
税引前四半期利益	1,163	1,612
法人所得税費用	410	555
四半期利益	753	1,057
四半期利益の帰属：		
親会社株主持分	755	1,056
非支配持分	△1	0
1株当たり親会社株主に帰属する四半期利益：		
基本	2.68円	3.75円
希薄化後	—	—

【要約四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)
四半期利益	753	1,057
その他の包括利益		
純損益に組み替えられない項目		
その他の包括利益を通じて測定する金融資産の 公正価値の純変動額	73	112
純損益に組み替えられない項目合計	73	112
純損益に組み替えられる可能性がある項目		
在外営業活動体の換算差額	△701	859
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動額	△6	1
持分法のその他の包括利益	3	3
純損益に組み替えられる可能性がある項目合計	△705	863
その他の包括利益合計	△632	976
四半期包括利益	121	2,033
四半期包括利益の帰属：		
親会社株主持分	122	2,032
非支配持分	△1	1

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年6月30日)

(単位 百万円)

	親会社株主持分						非支配持分	資本の部 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の 包括利益 累計額	自己株式	合計		
期首残高	26,100	2,669	△6,542	3,865	△129	25,963	165	26,129
変動額								
四半期利益			755			755	△1	753
その他の包括利益				△632		△632	0	△632
当四半期包括利益合計			755	△632		122	△1	121
自己株式の取得					△1	△1		△1
変動額合計	—	—	755	△632	△1	121	△1	120
期末残高	26,100	2,669	△5,786	3,233	△130	26,085	164	26,250

当第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)

(単位 百万円)

	親会社株主持分						非支配持分	資本の部 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の 包括利益 累計額	自己株式	合計		
期首残高	20,346	—	6,934	7,681	△139	34,823	171	34,994
変動額								
四半期利益			1,056			1,056	0	1,057
その他の包括利益				976		976	0	976
当四半期包括利益合計			1,056	976		2,032	1	2,033
親会社株主に対する配当金			△563			△563		△563
自己株式の取得					△1	△1		△1
変動額合計	—	—	492	976	△1	1,466	1	1,468
期末残高	20,346	—	7,427	8,657	△141	36,290	172	36,462

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)
営業活動に関するキャッシュ・フロー		
四半期利益	753	1,057
四半期利益から営業活動に関するキャッシュ・フローへの調整		
減価償却費及び無形資産償却費	2,610	2,936
法人所得税費用	410	555
持分法による投資損益	55	△48
金融収益及び金融費用	84	43
固定資産売却等損益	△12	△41
売上債権の増減	656	1,965
棚卸資産の増減	△1,813	△4,784
買入債務の増減	2,418	4,582
引当金の増減	109	9
退職給付に係る負債の増減	△9	△53
その他	△1,896	△2,342
小計	3,365	3,879
利息の受取	30	30
配当金の受取	6	3
利息の支払	△106	△102
法人所得税の支払	△401	△410
営業活動に関するキャッシュ・フロー	2,895	3,401
投資活動に関するキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得	△685	△1,733
無形資産の取得	△2,143	△2,416
有形固定資産の売却	20	69
有価証券及びその他の金融資産の取得	△76	△5
有価証券及びその他の金融資産の売却	150	0
その他	△5	4
投資活動に関するキャッシュ・フロー	△2,740	△4,082
財務活動に関するキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減	△701	3,253
長期借入債務による調達	—	8,000
長期借入債務の償還	△204	△8,218
配当金の支払	—	△563
自己株式の取得	△1	△1
財務活動に関するキャッシュ・フロー	△906	2,469
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	△67	110
現金及び現金同等物の増減	△819	1,899
現金及び現金同等物の期首残高	13,411	8,257
現金及び現金同等物の期末残高	12,591	10,157

(5) 継続企業の前提に関する注記
当該事項はありません。

(6) セグメント情報

報告セグメントごとの売上収益及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2014年4月1日 至 2014年6月30日)

(単位 百万円)

	報告セグメント					調整額	合計
	日本	米州	欧州	アジア・豪州	計		
売上収益							
外部顧客への売上収益	21,741	15,305	4,634	5,480	47,162	—	47,162
セグメント間の売上収益	11,122	1,270	827	15,288	28,507	△28,507	—
計	32,863	16,575	5,462	20,769	75,670	△28,507	47,162
セグメント利益	115	370	239	730	1,455	△152	1,303
金融収益	—	—	—	—	—	—	36
金融費用	—	—	—	—	—	—	121
持分法による投資損益	—	—	—	—	—	—	△55
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	1,163

(注)セグメント利益は、要約四半期連結財務諸表上の営業利益と調整を行っております。セグメント利益の調整額△152百万円は全額セグメント間取引消去であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)

(単位 百万円)

	報告セグメント					調整額	合計
	日本	米州	欧州	アジア・豪州	合計		
売上収益							
外部顧客への売上収益	20,772	21,009	3,615	6,648	52,045	—	52,045
セグメント間の売上収益	14,468	1,269	1,044	15,646	32,430	△32,430	—
計	35,240	22,278	4,660	22,295	84,475	△32,430	52,045
セグメント利益	91	553	84	835	1,565	43	1,608
金融収益	—	—	—	—	—	—	55
金融費用	—	—	—	—	—	—	98
持分法による投資損益	—	—	—	—	—	—	48
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	1,612

(注)セグメント利益は、要約四半期連結財務諸表上の営業利益と調整を行っております。セグメント利益の調整額43百万円は全額セグメント間取引消去であります。